

平成 31 年 3 月 19 日
行財政改革推進課

平成 30 年度職員提案制度の実績報告について

1. アイディア BOX

(1) 提案数及び参考とした提案数

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
提案数	75 件	108 件	190 件	89 件	123 件
参考とした 提案数	31 件 (41%)	27 件 (25%)	40 件 (21%)	23 件 (26%)	71 件 (58%)

※1 H26～H28 年度は前年度 10 月～当該年度 9 月、テーマ部門、フリー部門への提案を含む

※2 H29 は前年度 10 月～当該年度 12 月、H30 は前年度 1 月～当該年度 12 月

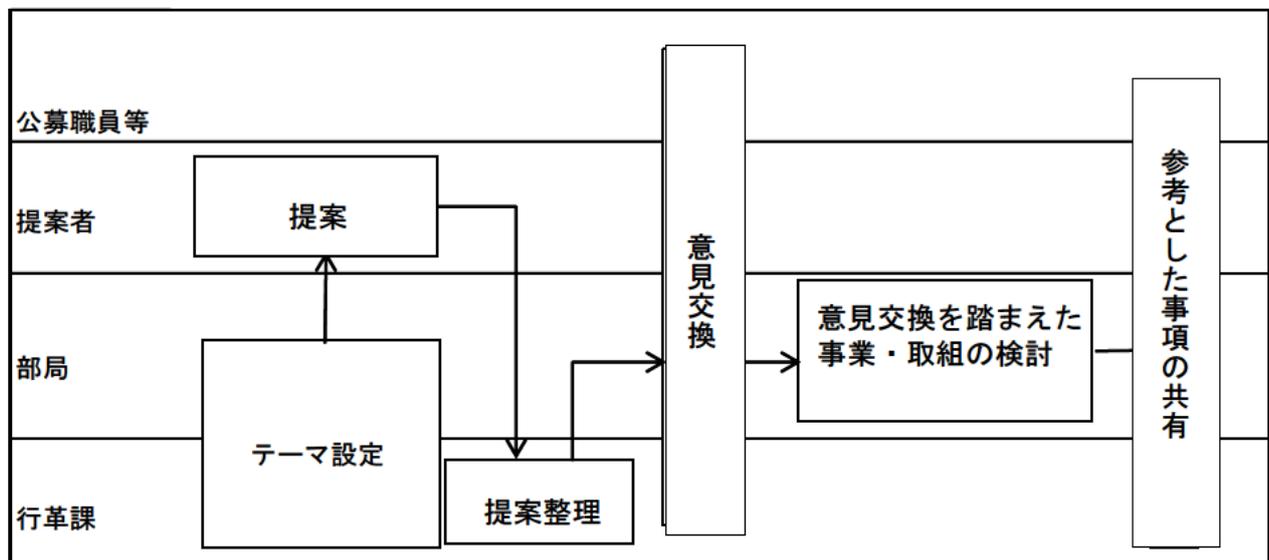
(2) 提案を受けて所管課が実行した取組例

- ①定期健康診断時に、健康管理をテーマとした冊子やパンフレットの配布
- ②エレベータ前への「おもいやりの椅子」の設置 (2 階・4 階)
- ③来客対応を円滑に行うため、「本庁舎応接室利用要領」の策定
- ④MIE 職員カアワード発表会における「招待事例」として、学生を中心とした地域支援団体 (四日市東日本大震災支援の会) を招聘

2. テーマ別事業提案

職員による新たなアイデアを活用したいテーマで提案を募集し、提案がなされた後、提案者、募集テーマ所管課、公募職員など、多様な立場の職員による意見交換を行ったうえで、部局において事業・取組への活用を検討していただく制度です。

※実施フロー



(1) 今年度のテーマについて

- ・小中学校・義務教育学校及び高等学校におけるいじめの防止について
(提案件数2件)
- ・内部事務の効率化に向けた方策～三重県庁スタンダードルールの改善に向けて～
(提案件数2件)

(2) 意見交換について

意見交換にあたっては、提案内容に対する質問、提案の実現可能性や有効性を高めるアイデアを出やすくするため、小テーブル形式で行いました。

①参加人数：18名（提案者、所管課、部局行革担当者、公募職員）

②意見交換参加者からの感想

- ・少人数で色々と話すことができ、手法としてよかった。【所管課、公募職員】
- ・所管課職員の参加により、専門的な知見が得られた。【公募職員】
- ・議論を円滑に行うための、ファシリテーターが必要【提案者、所管課】
- ・参加者により、議論の対象にバラツキがあり、テーマ全般に対する意見と提案に対する意見が混在していた。【公募職員】

(3) 参考とした内容について

①小中学校・義務教育学校及び高等学校におけるいじめの防止について

平成31年度「いじめ防止サミット」の企画立案における活用を検討
(検討事項例)

- ・ゲームやワークを通して、いじめに実際遭遇した場面での行動、感じ方を共有し、個人による感じ方の違い等の気づきを得る場の設定
- ・「子どもたちの見守り」に対する知識・取るべき行動を、地域で共有
- ・意見交換の場において、5～10人の小集団に分け、参加者が意見を出しやすいような運営

②内部事務の効率化に向けた方策～三重県庁スタンダードルールの改善に向けて～

- ・ビデオ会議システムの利用促進に向けたマニュアルの改訂など、サポートの充実を検討
- ・ジュニアボード制度におけるビデオ会議システム活用の周知
- ・各部局における共通的事務の担当者名簿について全庁的に共有

3. 今後の対応

本年度においては、気軽な提案と質の向上を目的として、アイデアBOXの種別に、「提案への賛成・補足意見」を追加したほか、若手職員の研修における広報機会を増やす等の改善をおこなった結果、提案数・参考とした提案数ともに、大幅に向上しました。

また、「テーマ別事業提案」については、参加者から、意見が出やすい環境づくりや、専門的な知見を得る場としての評価があった一方、意見交換会の進行手法等について改善を検討する必要があります。

引き続き、アイデアBOX及びテーマ別事業提案において、制度に参画する職員を増やしていくとともに、所管課が事業推進や業務改善の参考としやすい提案を増やしていくため、ブラッシュアップにも取り組んでいきます。